



日本化学連合 化学コミュニケーション賞2013

応募期間

平成25年10月1日～26年1月10日

日本化学連合は「化学コミュニケーション賞」を2011年に創設し「化学」に対する社会の理解を深めることに貢献した個人及び団体を顕彰しその栄誉を称えています。

本年度も奮ってご応募いただけますようお願い申し上げます。

これまでの受賞者:

2011年度

化学コミュニケーション賞(個人)

・佐藤健太郎(東京大学大学院理学系研究科化学専攻)
「ウェブ・書籍などを通じた化学コミュニケーション活動」

化学コミュニケーション賞(団体)

・株式会社クラレ
「20年に及ぶ「少女少女化学教室」の実践」

審査員特別賞

・戸谷義明(愛知教育大学理科教育講座化学分野)
「化学の普及と大学授業とを両立させる出前化学実験」
・藤井豊・浅原雅浩・田中幸枝(福井大学 医学部・教育地域科学部)
「分子模型教材による化学コミュニケーションの推進」

2012年度

化学コミュニケーション賞(個人)

・井上浩義(慶應義塾大学 医学部 化学教室)
「放射化学を通じた化学生涯教育の実践」
・栗岡誠司(神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科)
「新聞連載とサイエンスショーを通じての化学コミュニケーションの実践」

化学コミュニケーション賞(団体)

・化学ポータルサイトChem-Station
「化学情報伝達・啓発のためのウェブシステムの構築」

審査員特別賞

・学校法人重里学園 日本分析化学専門学校
「教員のチームワークを活かした化学情報の発信」
・吉祥瑞枝, 守恭助, 山内閑子(サイエンススタジオ・マリー)
「紙芝居と実験ショーの開発・公演活動 ―子供への化学コミュニケーション―」

主催:(一社)日本化学連合

共催:(株)化学工業日報社 (一社)化学情報協会 (独)科学技術振興機構

(一社)日本サイエンスコミュニケーション協会

化学コミュニケーション賞2013 募集要項

対象業績：わが国において、化学・化学技術に関する社会への啓発活動、あるいは化学関連情報の発信と流通を通じ、「化学」に対する社会の理解を深めることに貢献している個人および団体に本賞を授与します。
但し、個人の場合の応募1件あたりの構成人数は3名以内とし、団体の応募の場合は1団体単位の応募とします。

対象業績の例

- ① 講演会、出版物、インターネット、マスメディア、出前実験・講義等を通じて、化学のおもしろさや大切さを社会に向かって発信し、啓発している個人・団体
- ② 化学・化学技術と社会・環境とのかかわりについて、正しい理解を深めることに貢献している個人・団体
- ③ 化学に係わる様々な情報を社会に役立たせるためのシステム、手法の開発ならびに活用、化学情報の流通などに貢献している個人・団体
- ④ 上記活動をするための機会や場を創出し、またそれら活動が出来るような人材を育成している個人・団体

表彰件数：化学コミュニケーション賞 3件以内(そのほかに審査員特別賞を状況に応じて若干数予定)

表彰方法：(1) 賞記及び副賞をもって表彰します。表彰式は日本化学連合の主催で平成26年3月に開催予定のシンポジウム会場で実施します(当シンポジウムにおいて受賞者による簡単な業績紹介を予定)。
(2) 受賞者およびその業績は、日本化学連合のホームページならびに化学工業日報において公表、掲載します。

応募要領：(1) 自薦または他薦によります。
(2) 応募提出資料
①化学コミュニケーション賞応募・推薦書
概要(背景、主要業績と、その意義など)応募用紙記入欄0.5頁以内
業績の内容(応募用紙記入欄1.5頁以内、図表を含む)
②必要に応じて、業績を記載した資料3点以内、DVD等の記録媒体等の添付も可とします。
(応募書類に添付して郵送してください。ただし、応募書類をPDFで提出の場合は別便で応募期間内にしてください)
化学コミュニケーション賞の応募・推薦書の記入用紙は、下記よりダウンロードして下さい
<http://www.jucst.org/>
(3) 応募期間：平成25年10月1日～平成26年1月10日(当日消印有効)
(4) 応募書類の提出方法および問合せ先
応募書類はハードコピーで下記に郵送するか、応募書類をPDFに変換し電子メールの添付ファイルとして提出してください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館3F
(一社)日本化学連合事務局 化学コミュニケーション賞係
E-mail: ohashi@jucst.org Tel: 03-3292-6010

選考方法：有識者からなる選考委員会を日本化学連合内に設け選考します。

個人情報：応募に当たって得られた個人情報は、結果の公表、通知に限って使用させていただきます。

日本化学連合に加盟している16学協会

(公)化学工学会、クロマトグラフィー科学会、光化学協会、(公)高分子学会、(一)触媒学会、
(公)石油学会、(一)繊維学会、(公)電気化学会、(一)日本エネルギー学会、(公)日本化学会、
(一)日本ゴム協会、(公)日本セラミックス協会、日本地球化学会、(公)日本分析化学会、
(公)日本薬学会、(公)有機合成化学協会